

平成 28 年度静岡県原子力防災訓練の実施結果

1 平成 28 年度静岡県原子力防災訓練の概要

県と原子力災害対策重点区域を持つ 11 市町が主催し、静岡県地域防災計画(原子力災害対策の巻)、浜岡地域原子力災害広域避難計画等に基づく総合的な訓練を、初日の図上訓練と 2 日目の実動訓練の二日間にわたりおこなった。

図上訓練では、主に平成 28 年 3 月に竣工した「原子力防災センター」を会場とし、緊急時モニタリングの結果から防護措置(避難・一時移転等)の実施方針を決定する訓練等を実施した。

実動訓練では、避難退域時検査場所の設置・運営訓練や在宅要配慮者の屋内退避訓練等を実施した。

2 図上訓練(原子力防災センター等運営訓練)

(1) 日 程 平成 29 年 2 月 9 日(木) 9 時 30 分から 15 時 30 分まで

(2) 会 場 原子力防災センター、県危機管理センター、各市町庁舎等

(3) 参加機関

県危機管理部・健康福祉部・試験研究機関、県警本部、県内市町、広域避難先都県、国、中部電力等約 270 名の防災要員が参加。

(4) 訓練想定

浜岡原子力発電所 4 号機で過酷事故が発生し、外部に放射性物質が放出されたことを想定し訓練を実施。

(5) 訓練内容(詳細は別紙訓練項目及び内容を参照)

- ① オフサイトセンター(OF C)運営訓練
- ② 緊急時モニタリングセンター(EMC)運営訓練
- ③ 緊急時モニタリング結果に基づく防護措置の実施方針決定訓練
- ④ 防護措置等の情報伝達訓練
 - ・ 「原子力防災ポータル」による住民への情報伝達訓練
 - ・ 安定ヨウ素剤の備蓄状況の確認訓練
 - ・ 避難先都県との受入可否の確認訓練

3 実動訓練

(1) 日 程 平成 29 年 2 月 10 日 (金) 8 時 30 分から 12 時 00 分まで

(2) 会 場

新東名高速道路浜松SA下り線、谷稲葉うぐいすパーキングエリア、御前崎市白羽公民館、菊川市小笠南地区コミュニティセンター、市立御前崎総合病院、県立総合病院、浜松医科大学附属病院、御前崎市消防本部、(国)150号千浜南交差点 等

(3) 参加機関等 31 機関約 650 人 (うち参加住民約 300 人)

自衛隊、県警察本部、関係消防本部、市立御前崎総合病院、県立総合病院、浜松医科大学附属病院、灯光園、東海清風園、(公社)県放射線技師会、中部電力(株) 等

(3) 訓練想定

浜岡原子力発電所4号機で過酷事故が発生し、外部に放射性物質が放出されたことを想定し訓練を実施。

(4) 訓練内容(詳細は別紙訓練項目及び内容を参照)

①住民避難訓練、②住民への情報伝達訓練、③避難退域時検査場所運営訓練、④在宅要配慮者屋内退避訓練、⑤原子力災害医療訓練、⑥消防隊員の原子力防災資機材取扱訓練、⑦放射線防護対策設備稼働訓練、⑧警戒区域設定訓練、⑨避難誘導訓練

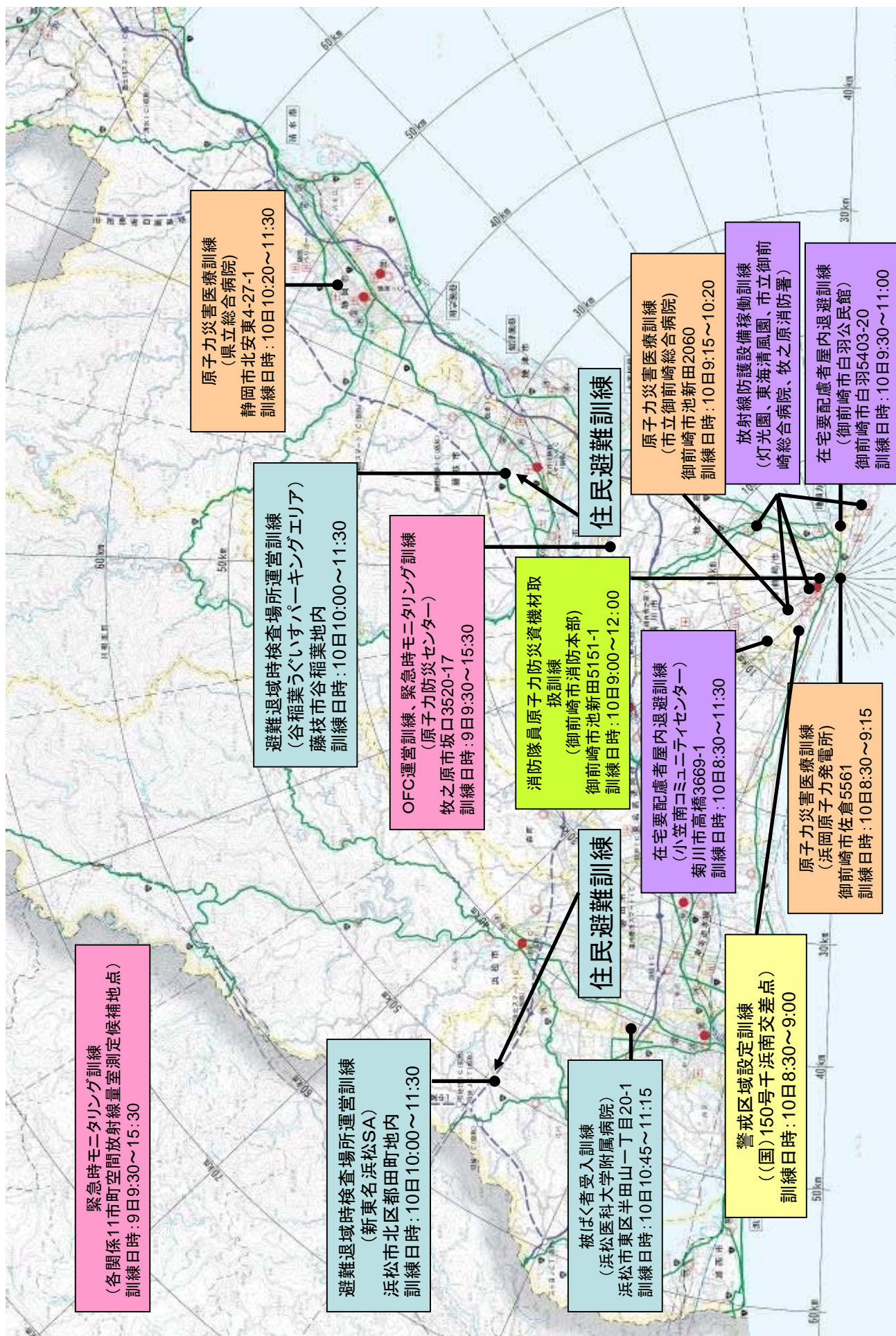
(別紙) 訓練項目及び内容

訓練項目	訓練内容	訓練日	形式	参加機関
1. 原子力防災センター等運営訓練				
防護措置決定訓練	1-1. 県及び関係市町本部運営訓練 ① モニタリング情報の把握 ② 国・EMC・OFC・県・関係市町との情報共有 ③ テレビ会議等による一時移転等の範囲(案)の協議 ④ 周辺県連絡員へのモニタリング情報の伝達 ⑤ 広域避難受入先(県内、関係都県)との受入可否確認の情報受伝達 ⑥ 安定ヨウ素剤の配布に関する調整	2月9日(木)	図上	◎ 県危機管理部、健康福祉部、賀茂地域振興局、東部危機管理局、中部危機管理局、西部危機管理局、関係11市町 ・ 県内市町、広域避難先都県
	1-2. オフサイトセンター運営訓練 ① オフサイトセンター機能班の運営 ② EMC、県原子力災对本部との連携 ③ 国から示されたOILに基づく一時移転等の範囲の案について、県・関係市町と協議、取り纏め	2月9日(木)	図上	◎ 浜岡原子力規制事務所 ・ 国関係機関、県、関係11市町、防災関係機関
	1-3. 原子力防災ポータル運用訓練 ① 原子力防災ポータルでの情報発信	2月9日(木)	図上	◎ 県危機管理部
	1-4. EMCのOIL対応訓練 ① 緊急時モニタリング実施計画に基づく測定の指示及び測定結果の妥当性確認 ② 緊急時モニタリングの測定結果及び評価結果の情報共有(ERC、OFC及び関係市町との連携) ③ 緊急時モニタリング実施計画の改訂案の検討	2月9日(木)	図上	◎ 環境放射線監視センター ・ 原子力規制庁、県試験研究機関、関係11市町、(公財)原子力安全技術センター、(国研)日本原子力研究開発機構、中部電力
緊急時モニタリング訓練	1-5. 関係市町簡易型電子線量計設置訓練 ① 緊急時モニタリングにおける空間放射線量率測定候補地点に簡易型電子線量計を設置・測定	2月9日(木)	実動	◎ 関係11市町、中部電力

訓練項目	訓練内容	訓練日	形式	参加機関
2. 住民避難等訓練	<p>2-1. 住民情報伝達訓練</p> <p>① 住民への広報(同報無線、メール配信、広報車など)</p> <p>2-2. 住民避難訓練</p> <p>① 一時集合場所での受付事務</p> <p>② UPZ市町については、安定ヨウ素剤(模擬を用意)の住民への配布</p> <p>③ バスの配車、住民のバス乗車の誘導</p> <p>④ バス及び公用車による移動(避難退域時検査場所まで)</p> <p>⑤ 避難退域時検査場所運営訓練への参加</p> <p>2-3. 避難退域時検査場所運営訓練</p> <p>① 避難退域時検査場所の開設・運営</p> <p>② 車両のスクリーニング・簡易除染</p> <p>③ 住民のスクリーニング・簡易除染</p> <p>④ 40,000cpmを下回らない傷病被ばく者の2次被ばく医療機関への搬送(浜松SAのみ実施)</p> <p>⑤ 証明書の発行</p> <p>2-4. 在宅配慮者屋内退避訓練</p> <p>① 放射線防護対策設備の稼働</p> <p>② 公民館・コミュニケーションセンターへの周辺住民(在宅の要配慮者)誘導</p> <p>③ 屋内退避に必要な資機材、食料等の確認</p> <p>④ 要配慮者の避難に必要な搬送体制の確認手順の確認</p>	2月10日(金)	実動	◎ 県危機管理部、袋井市、吉田町、島田市
住民避難訓練	◎ 御前崎市、掛川市、菊川市、袋井市、磐田市、吉田町、島田市 ・上記市町住民参加	2月10日(金)	実動	◎ 御前崎市、掛川市、菊川市、袋井市、磐田市、吉田町、島田市 ・上記市町住民参加
在宅配慮者屋内退避訓練	◎ 県危機管理部、中部・西部危機管理局、健康福祉部、中部・西部健康福祉センター、御前崎市、掛川市、菊川市、袋井市、磐田市、吉田町、島田市(前記市町住民参加)、牧之原市、焼津市、藤枝市、自衛隊、中日本高速道路㈱、県放射線技師会、中部電力㈱、静岡・浜松赤十字病院、浜松医科大学附属病院	2月10日(金)	実動	◎ 御前崎市、菊川市、自衛隊、県危機管理部、

訓練項目	訓練内容	訓練日	形式	参加機関
3. 原子力災害医療訓練	<ul style="list-style-type: none"> ① 御前崎市消防本部による緊急搬送 ② 市立御前崎総合病院での受入(外科的処置) ③ 県立総合病院へオレンジアローによるヘリ搬送 ④ ホールボディカウンターによる内部被ばくの測定 ⑤ 福島県立医科大学(原子力災害医療・総合支援センター)との連携確認 	2月10日(金)	実動	◎健康福祉部、県危機管理部、県消防防災航空隊、市立御前崎総合病院、県立総合病院、御前崎市消防本部、中部電力(株)、福島県立医科大学
4. 消防隊員の原子力防災資機材取扱訓練	<ul style="list-style-type: none"> ① 原子力防災資機材の取扱訓練 ② 除染シャワーを使用し、汚染水をできる限り低減する効果的な除染方法を検証 	2月10日(金)	実動	◎御前崎市消防本部、静岡市消防局牧之原消防署・吉田消防署、菊川市消防本部、掛川市消防本部
5. 放射線防護対策設備稼働訓練	<p>5-1. PAZ内病院 放射線防護対策設備稼働訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 放射線防護対策設備の稼働 ② 屋内退避に必要な資機材、食料等の確認 <p>5-2. PAZ内社会福祉施設放射線防護対策設備稼働訓練(特別養護老人ホーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 放射線防護対策設備の稼働 ② 屋内退避に必要な資機材、食料等の確認 <p>5-3. 災害対策拠点施設 放射線防護対策設備稼働訓練(消防署)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 放射線防護対策設備の稼働 ② 屋内退避に必要な資機材の確認 	2月10日(金)	実動	◎県危機管理部、御前崎市、市立御前崎総合病院 ◎県危機管理部、御前崎市、東海清風園、灯光園 ◎県危機管理部、牧之原市、静岡市消防局牧之原消防署
6. 警戒区域設定訓練	<ul style="list-style-type: none"> ① 封鎖する道路上に立入制限看板の設置 ② 警戒区域への立入制限に係る対応の確認 	2月10日(金)	実動	◎御前崎市、掛川市、県警察本部、掛川警察署、県危機管理部
7. 避難誘導訓練	<ul style="list-style-type: none"> ① 避難退域時検査場所において避難バス等の誘導 ② 避難退域時検査場所において混乱防止対策の実施 	2月10日(金)	実動	◎県警察本部、関係警察署

平成28年度 静岡県原子力防災訓練の実施箇所



静岡県原子力防災訓練 (図上訓練)の実施結果

「原子力防災センター等運営訓練」

静岡県原子力安全対策課

原子力防災センター



合同対策協議会室



原子力防災センター等運営訓練の概要

- 日時 平成29年2月9日(木)午前9:30から
午後3時30分まで
- 場所 原子力防災センター、県庁、関係市町等
- 想定 原子力単独の災害
- 手法 ブラインド方式
- 内容 防護措置の実施方針の決定訓練
避難者受入可否の確認訓練
原子力防災ポータルによる情報発信訓練
等

訓練参加者

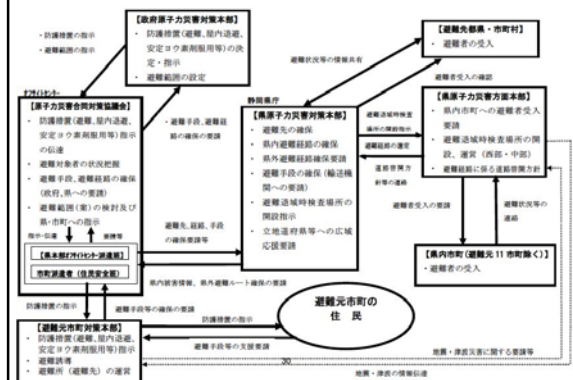
■ プレーヤー(訓練参加者)

- OFC、EMC、関係市町災害対策本部、静岡県原子力災害対策本部、(以下、県本部を通じて情報受伝達可)県各方面本部、県内市町、関係都県

■ コントローラー(訓練統制)

- 政府原子力災害対策本部(ERC)、病院・社会福祉施設、浜岡地域原子力発電所、公共交通機関、報道関係、その他全て

防護措置等に係る関係機関の役割と情報の流れ



訓練スケジュール(訓練開始時)

想定時間	実時間	訓練想定
2月7日	7:30	浜岡原子力発電所4号機において警戒事態発生
8:30		施設敷地緊急事態発生、県原子力災害警戒本部・方面本部の設置 EMCの設置、緊急時モニタリング実施計画発出
9:00		全県緊急事態発生、県原子力災害対策本部・方面本部の設置、県OFC派遣班の派遣 PAZ避難指示、避難開始(※空間放射線量率に異常なし)
2月9日	2月9日	9:00 要員参集、ブリーフィング(※放射線物質の放出のおそれ)
訓練開始		

訓練スケジュール(午前)

想定時間	実時間	訓練想定
訓練開始		
2月9日	2月9日	9:00 PAZ避難の実施状況の整理等、緊急時モニタリング実施計画改訂
9:30	9:30	○PAZ：避難等実施状況の確認、UPZ：住民(要配慮者等含む)の把握、受入可否の確認 ○緊急時モニタリング実施計画改訂の検討
10:10	10:10	モニタリング結果報告(定時報告)
10:20	10:20	【IV会議(30分)】 ・プラント状況、モニタリング結果の確認 ・緊急時モニタリング実施計画改訂の検討状況 ・PAZ：要配慮者の屋内退避、避難準備状況、住民避難の実施状況の確認 ・UPZ：屋内退避・広域活動等の実施状況の確認、受入可否の状況の確認 ・その他関係機関の体制・活動状況報告
11:00	11:00	放射線物質の放出
11:10	11:10	緊急時モニタリング実施計画改訂 モニタリング結果報告(定時報告)：発電所敷地内の線量率に変化あり。 ○一時移転の準備(避難手段・避難ルートの確認、避難速報時検査場所の開設準備等) ○モニタリングの指示書作成、測定の手配
12:00	12:00	一部の測定地点において12:00の1時間値が20 μ Sv/h超 (※要にこの後経過地点は拡大していく。)
訓練中		昼休み(12:00-12:00)

訓練スケジュール(午後)

想定時間	実時間	訓練想定
【想定時間を24時間スキップして再開】		
2月10日	2月9日	13:30 防護措置(一時移転等)の指示文(案)発出
14:10	14:10	○一時移転の準備状況の整理(受入先へ避難の促進、避難手段・ルートの確認、避難速報時検査場所の開設等) ○モニタリングの実施状況の整理、他県・他機関への応援要請
14:20	14:20	モニタリング結果報告(定時報告)
14:20	14:20	【IV会議(30分)】 ・プラント状況、モニタリング実施状況の確認 ・防護措置(一時移転等)の指示文(案)の確認及び実施方針案の検討 ・他県・他機関からの支援状況、原子力防災ポータルによる住民への周知方法の検討
15:00	15:00	防護措置(一時移転等)の指示文発出 原子力防災ポータルによる住民への周知等
15:10	15:10	訓練振り返り(各機関・機関間にて)
15:30	15:30	訓練終了

緊急時モニタリングセンター(EMC)



オフサイトセンター(OFC)

- 総括班
- 広報班
- 放射線班
- 医療班
- 住民安全班
- 運営支援班
- 実動対処班
- プラントチーム
- (原子力事業者)

総括班



広報班



放射線班



医療班



住民安全班



運営支援班



実動対処班



実動対処班(消防)



実動対処班(警察・海保)



プラントチーム



原子力事業者(中部電力)



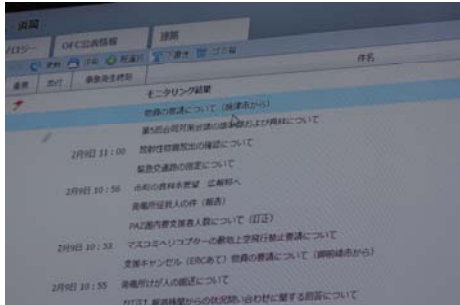
県オフサイトセンター派遣班



コントローラー(情報付与)



原子力防災活動情報システム



国、県、関係市町テレビ会議(1)



国、県、関係市町テレビ会議(2)



訓練記者ブリーフィング



視察(知事)



視察(防災・原子力学術会議委員)



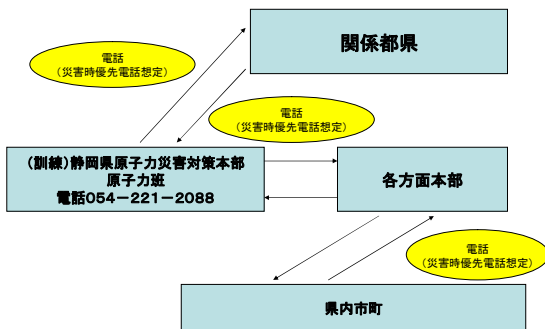
視察(キャンプ富士)



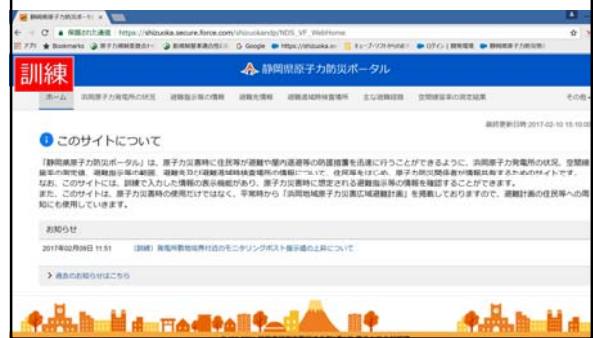
県庁、県内市町、関係都県

- 避難者受入可否の確認訓練
- 原子力防災ポータルによる情報発信訓練

情報の流れ



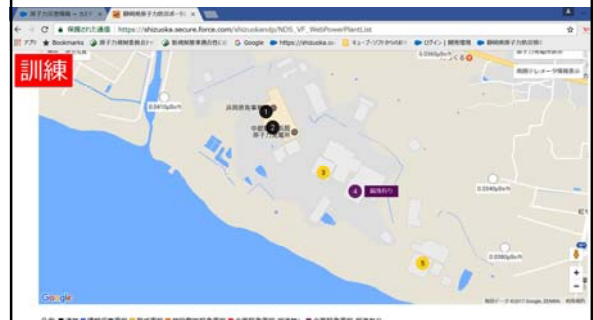
原子力防災ポータル(ホームページ)



「お知らせ」による情報発信 (facebook、ツイッターと連動！)



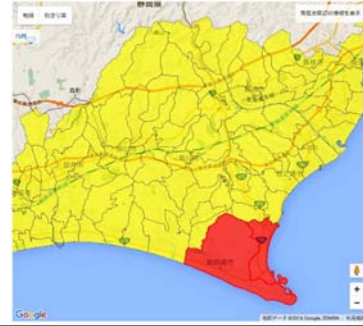
浜岡原子力発電所の状況(地図)



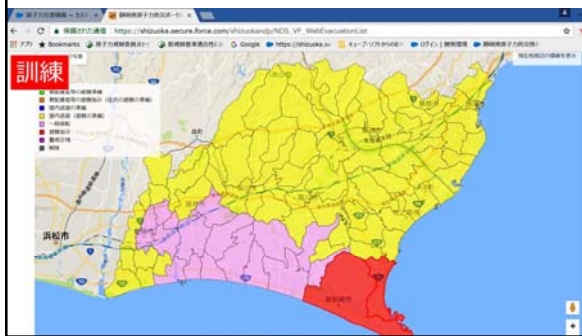
浜岡原子力発電所の状況(表)

発電所名	運転状況	運転状況に関するコメント	運用開始時期	運用状況	運転停止理由(運転停止時)	備考
1号機	運転停止中	定期点検に伴い運転停止中 予定の再稼働時期は未定	1996年	停止	定期点検	
2号機	運転停止中	定期点検に伴い運転停止中 予定の再稼働時期は未定	1996年	停止	定期点検	
3号機	運転停止中	定期点検に伴い運転停止中 予定の再稼働時期は未定	1996年	停止	定期点検	
4号機	運転停止中	定期点検に伴い運転停止中 予定の再稼働時期は未定	1996年	停止	定期点検	
5号機	運転停止中	定期点検に伴い運転停止中 予定の再稼働時期は未定	1996年	停止	定期点検	

避難指示等の状況(訓練開始時)



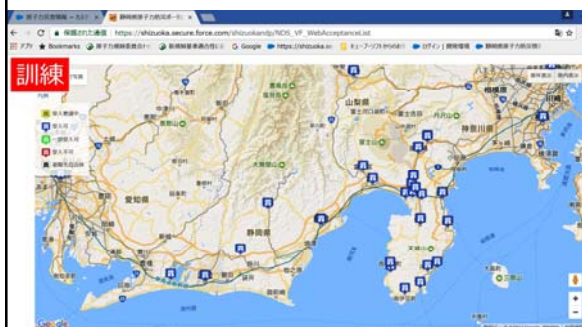
避難指示等の状況(地図)



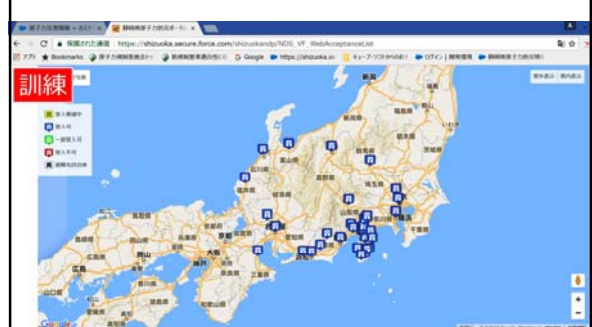
避難指示等の状況(表)

避難指示区域	避難指示区域の名称	面積(平方メートル)	人口(人)	避難指示区域の種別	避難指示区域の種別	避難指示区域の種別	避難指示区域の種別	避難指示区域の種別
1	浜岡原子力発電所	1,772	10,000	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)
2	大井町	198	791	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)
3	大井町	198	791	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)
4	大井町	198	791	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)
5	大井町	198	791	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)	避難指示区域(訓練中)

避難先の受入可否の状況(県内)



避難先の受入可否の状況(県外)



避難先の受入可否の状況(表)

避難先名称	住所	避難先自治体	受入状況
福島県庁	福島市	福島市	受入可
福島県庁第二庁舎	福島市	福島市	受入可
福島県庁第三庁舎	福島市	福島市	受入可
福島県庁第四庁舎	福島市	福島市	受入可
福島県庁第五庁舎	福島市	福島市	受入可
福島県庁第六庁舎	福島市	福島市	受入可
福島県庁第七庁舎	福島市	福島市	受入可
福島県庁第八庁舎	福島市	福島市	受入可
福島県庁第九庁舎	福島市	福島市	受入可
福島県庁第十庁舎	福島市	福島市	受入可

避難退域時検査場所の状況(地図)



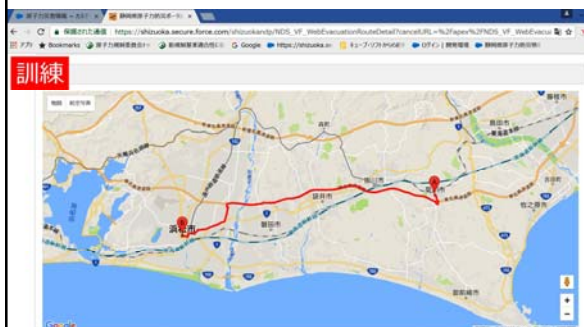
避難退域時検査場所の状況(表)

施設名	住所	検査状況	法人名称	検査対象スタッフ人数
福島県庁第一庁舎	福島市	検査済	福島県	100
福島県庁第二庁舎	福島市	検査済	福島県	100
福島県庁第三庁舎	福島市	検査済	福島県	100
福島県庁第四庁舎	福島市	検査済	福島県	100
福島県庁第五庁舎	福島市	検査済	福島県	100
福島県庁第六庁舎	福島市	検査済	福島県	100
福島県庁第七庁舎	福島市	検査済	福島県	100
福島県庁第八庁舎	福島市	検査済	福島県	100
福島県庁第九庁舎	福島市	検査済	福島県	100
福島県庁第十庁舎	福島市	検査済	福島県	100

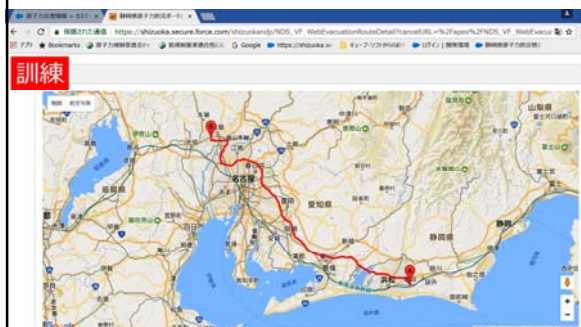
主な避難経路の状況(表)

経路名称	避難先自治体	避難先自治体名称	備考
福島県庁第一庁舎	福島市	福島市	
福島県庁第二庁舎	福島市	福島市	
福島県庁第三庁舎	福島市	福島市	
福島県庁第四庁舎	福島市	福島市	
福島県庁第五庁舎	福島市	福島市	
福島県庁第六庁舎	福島市	福島市	
福島県庁第七庁舎	福島市	福島市	
福島県庁第八庁舎	福島市	福島市	
福島県庁第九庁舎	福島市	福島市	
福島県庁第十庁舎	福島市	福島市	

主な避難経路の状況(例:県内)



主な避難経路の状況(例:県外)



成果

- 新たに整備された「原子力防災センター」において、国・県・市町と防災関係機関が緊密に連携し、活動する体制を検証した。
- 放射性物質の放出を想定し、放射線量の測定値に基づき防護対策を決定訓練により、緊急時モニタリング結果に基づく状況判断を検証した。
- 「原子力防災ポータル」による住民への情報伝達訓練を実施し、スマートフォン等による住民への情報伝達の有効性等を検証できた。

課題

- オフサイトセンターにおける国職員と県・市町職員との連携について、様々な異なる状況を想定した訓練が必要である。
- 特に、大規模地震等の複合災害を想定し、原子力防災センターでの活動と県庁・関係市町等との連携について研究する必要がある。

平成28年度静岡県原子力防災訓練
(実動訓練)の実施結果

1

～避難退域時検査場所運営訓練～
於：新東名浜松SA下り線
谷稲葉うぐいすPA

2

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～避難退域時検査場所運営訓練～



車両ゲートモニタによる車両検査

3

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～避難退域時検査場所運営訓練～



バス等 降車後住民検査会場へ

4

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～避難退域時検査場所運営訓練～



GMサーベイメータによる指定箇所検査

5

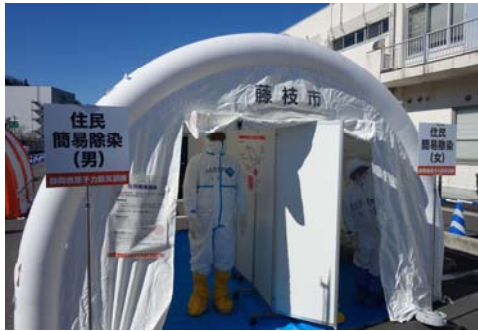
平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～避難退域時検査場所運営訓練～



体表面汚染モニタによる検査

6

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～避難退域時検査場所運営訓練～



住民簡易除染

7

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～避難退域時検査場所運営訓練～



GMサーベイメータによる検査及び簡易除染

8

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～避難退域時検査場所運営訓練～



自衛隊による車両除染

9

在宅要配慮者屋内退避訓練
於: 菊川市小笠南地区コミュニティセンター

10

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の状況
～在宅要配慮者屋内退避訓練 於: 小笠南地区コミュニティセンター～



陽圧浄化ユニット建屋

11

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～在宅要配慮者屋内退避訓練 於: 小笠南地区コミュニティセンター～



差圧計

12

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～在宅要配慮者屋内退避訓練 於:小笠南地区コミュニティセンタ～



在宅要配慮者の受付

13

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～在宅要配慮者屋内退避訓練 於:小笠南地区コミュニティセンタ～



段ボール間仕切りの設置

14

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の状況
～在宅要配慮者屋内退避訓練 於:小笠南地区コミュニティセンタ～



備蓄食糧の確認

15

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の状況
～在宅要配慮者屋内退避訓練 於:小笠南地区コミュニティセンタ～



在宅要配慮者の搬送

16

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～在宅要配慮者屋内退避訓練 於:小笠南地区コミュニティセンタ～



在宅要配慮者の自衛隊車両による搬送

17

～原子力災害医療訓練～
於:市立御前崎総合病院等

18

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～原子力災害医療訓練～



市御前崎総合病院における傷病対応

19

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～原子力災害医療訓練～



汚染拡大防護措置(アイソボッド使用)

20

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～原子力災害医療訓練～



ヘリによる県立総合病院への搬送

21

～消防隊員原子力防災資機材取扱訓練～
於:御前崎市消防本部

22

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～消防隊員原子力防災資機材取扱訓練～



除染シャワーテントの設置訓練

23

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～消防隊員原子力防災資機材取扱訓練～



防護服の着用訓練

24

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～消防隊員原子力防災資機材取扱訓練～



救急車の養生

25

～警戒区域設定訓練～
於:国道150号千浜南交差点付近

26

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～警戒区域設定訓練～



立入禁止看板の設置

27

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～警戒区域設定訓練～



車両の引き込み

28

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～警戒区域設定訓練～



立入可否の対応状況

29

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～成果～

- ・各訓練において、災害対応にかかる手順確認するとともに、関係機関等との相互の連携について確認できた。
- ・県・市町・防災関係機関の職員が、企画段階から主体的に関与することにより知識や習熟度が向上した。
- ・避難域時検査場所運営訓練や警戒区域設定訓練において、今まで訓練を行っていなかった会場で訓練を実施し、導線等の確認ができた。
- ・住民避難訓練において、外部被ばくを防ぐための手段として住民のレインコート着用訓練を実施し、住民への普及啓発ができた。
- ・在宅要配慮者の屋内退避訓練等では、放射性物質の除去フィルターを整備した施設において、設備稼働時の入退出手順・設備稼働手順・搬送体制の確保手順等を確認できた。

平成28年度静岡県原子力防災訓練(実動訓練)の実施結果
～課題～

- ・避難退域時検査場所運営訓練において、訓練当日強風だったため、エアートントが煽られ設置に時間を要し運営面でも苦勞する場面があった。そのため、強風下でも安全に設営、利用できる資機材の整備や検査場所の選定が必要である。
- ・災害対応力の向上には、更なる要員の習熟や防災関係機関相互連携が必要であるとの声が多かった。そのため、継続して訓練を実施し、災害対応力の向上を図っていく必要がある。

31